

人口動態	
(5月1日現在)	
世 總 帶 人 口	22,206 102,164(+316)
男 48,508(+126)	
女 53,656(+190)	
出生 211件	死亡 75件
転入 1,478	転出 1,298
婚姻 118	離婚 7

会津若松

市政だより

昭和26年7月6日第三種郵便物認可



170号

昭和39年5月15日発行

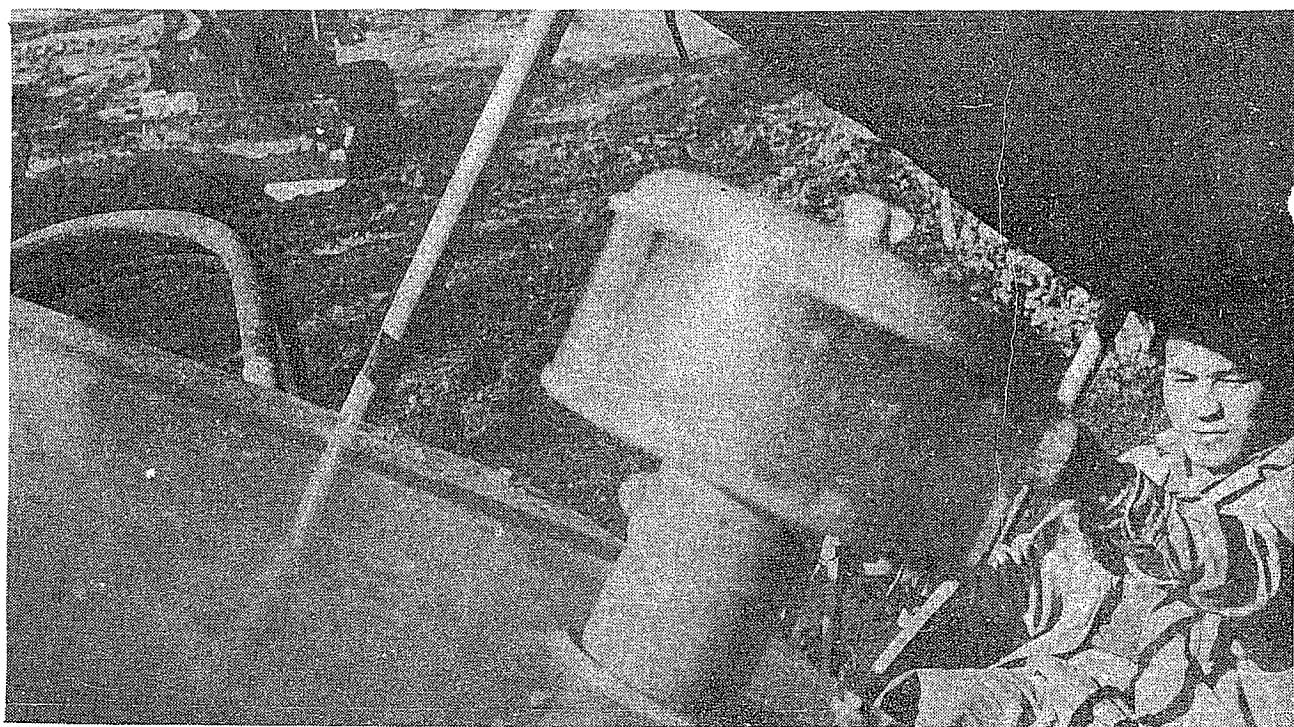
発行所 会津若松市

発行人 桜木 幸次

編集広報係

定価・5円

毎月1日・15日発行



明日に期待する

No.8

催し案内

近代的な農業経営をめざして、市本の水田の耕地整理は着々と進み、すでに全耕地面積の六〇%が行なわれた。この生活展開催中、公民館三階ホールでパパとママの腕自慢、赤ちゃんの病気、離乳食の調理指導、育児講話、二十日予防接種と応急処置、赤ちゃん教室は十六日赤ちゃんの栄養、十七日日光浴、赤ちゃん体操、十八日赤ちゃんの注意で、時間は毎日午後二時から三時まで開かれます。

現在、湊町原、田代西地区で百六十町歩ほどが行なわれており、これが完了すればなかでも町北地区では九八%、高野地区九〇%が整理されている。

今まで、あちこちにばらばらにあった耕作地は一ヵ所に集中され、肥培管理も合理化されて労力の節減は著しい。

湊町の場合、種まきから収穫まで、反り二十三・八人の労力が必要であったが、施行後は十六人で済むようになった。

又、地力の増進の結果、収穫高も昭和二十六年で反当四俵一斗であったが昭和三十八年には八俵以上の収穫を見、その間冷害の防止にも大きな役目を果した。

嫁不足、若者の離村と農業経営の前途には困難な問題が数多く横たわっているが、それを解決する大きな鍵は、労力の節減であり、耕地整理はそのための明るい将来を約束している。

母子衛生思想の普及と乳幼児の体位向上をはかり、さらに疾病を予防して健康な生活に寄与するため、五月十六日から二十二日まで公民館で、市、福島民報社、母子愛育会福島県支部の主催で開かれます。

内容は赤ちゃんの健康相談、栄養相談及び調乳、離乳食の調理指導、育児映画会が毎日午後一時から四時、赤ちゃん教室は十六日赤ちゃんの栄養、十七日日光浴、赤ちゃん体操、十八日赤ちゃんの病気、十九日赤ちゃんの予防薬、二十日予防接種と応急処置、二十一日赤ちゃんのしつけ、二十二日妊娠への注意で、時間は毎日午後二時から三時まで開かれます。

この生活展開催中、公民館三階ホールでパパとママの腕自慢、赤ちゃんの写真コンクールも行なわれます

第三回市赤ちゃん生活展

農山漁村住宅建設資金の貸付

住宅金融公庫では、農業、林業、漁業に從事するものを対象に、住宅建設資金の貸付を5月30日まで行なっています。

貸付対象面積は住宅部分のうち60平方メートル以内

で、貸付金の限度は公庫で定める標準建設費の7割5分、貸付利率は年5分5厘です。

なお、公庫では30日まで住宅の改修資金も貸付けています。詳しくは東邦銀行会津支店にお問合せください。

